

**オーストラリア・シドニー
有給日本語教師アシスタントプログラム
2021**



有給日本語教師アシスタントプログラムとは？

オーストラリアは、日本語学習者数ランキングで①中国②インドネシア③韓国について4位にランクインしています。人口10万人当たりの日本語学習者数で考えると最も多い国になります。多くの学習者がいるにも関わらずオーストラリアは日本語教の数が圧倒的に少ないため、積極的に日本語教師の受け入れを行っております。このプログラムは、将来、本格的に日本語教師を目指している方におすすめのプログラム。有給の日本語教師アシスタントインターンは公立の学校ではなく民間日本語学校ですので、アジアや日本で主に採用されている「直接法」という日本語を使って日本語を教える指導方法のため、将来日本を含めアジア圏で活躍したい方にお薦めです。

こんな希望を持つ方にお勧めです

- 将来日本語教師を目指している
- 将来先生を目指している
- 日本語教師資格保持者で実践的なキャリアを積みたい
- 日本語教師として海外（特にアジア）で就職を目指している方
- 日本語教師の資格や実践を一から学びたい方
- 帰国後の就職や転職に繋がる経験を積みたい方
- 日本文化や日本語を海外に広めたい方



有給日本語教師インターンサンプルプラン

プラン① 間接法と直接法の両方を学びたい！

オーストラリアの公立小・中・高で活動する日本語教師アシスタントボランティアは間接法（英語で日本語を教える）、民間の日本語学校での日本語教師アシスタント（本プログラム）は直接法（日本語で教える）を取り入れております。そのため1年間のワーホリ滞在中に両方の教授法を学びたいという方にはこのプランがおすすめです！

ステップ1 公立の小中高で3ヶ月間（1学期間）日本語教師アシスタントボランティアに参加

ステップ2 オーストラリアの民間日本語学校で一講師として活動

トレーニング期間（無給3ヶ月）+有給インターン6ヶ月間の計9ヶ月間日本語教師として活動

プラン② 日本語教師についてゼロから学ぶ！資格取得からインターン

シドニーの日本語教師養成講座でまずは資格取得するところからスタート！模擬授業が多く、実践力がつくことから、修了後はすぐにでも一日本語教師として活躍できる素養を身に付けられます。もちろんインターンを開始する際は、3ヶ月間のトレーニング期間（無給）が安心。※通信で日本語教師養成講座を終了した後も同じプランで活動ができます。

ステップ1 シドニーで日本語教師養成講座420時間受講（11週間）

ステップ2 オーストラリアの民間日本語学校で一講師として活動

トレーニング期間（無給3ヶ月）+有給インターン6ヶ月間の計9ヶ月間日本語教師として活動

プラン③ 英語もしっかり学びたい！帰国前に資格+日本語教師で就労経験を積む！

民間日本語学校では基本的に日本語を使って指導する直接法を採用していますが、生徒はオーストラリア人ですので、英語を使いながら指導する機会も出ています。インターンシップの前に語学学校を組合せることによってある程度の英語力をついた上で、有給インターンシップに挑戦することが可能。

ステップ1 シドニーの語学学校で3ヶ月間勉強

ステップ2 オーストラリアの民間日本語学校で一講師として活動

トレーニング期間（無給3ヶ月）+有給インターン6ヶ月間の計9ヶ月間日本語教師として活動

日本語教師養成講座

日本にある日本語学校が日本語教師になるために必要としている学習時間を満たす420時間の日本語教師養成講座の資格です。この講座も主な教育機関の採用条件に適応しています。終了時には420時間のサーティフィケイト(修了証)が発行発行されます。また、全養協(全国日本語教師養成協議会)の加盟校であるので、全養協加盟校の入った修了証も発行され、さらに全養教日本語検定試験を受験することもできます。修了後、シドニーで日本語教師アシスタントインターンシップを行うことで実務経験を得ることができます、その後はアジアなど他国で日本語教師として活躍しキャリアアップを図ることもできます。

通学コース in シドニー

費用:AUS\$4,950 (2021年2月現在)

期間: 約3ヶ月間(11週間)

受講地: シドニー

オーストラリア、シドニーで行う日本語教師養成講座では、その実践部分に重きを置いています。具体的には、週に最低1回は模擬授業が課されます。多い方で週に3回模擬授業をする場合もあります。模擬授業をするには、教案の作成、それに沿った教材の作成、そして自主練にてデモンストレーションの練習などその準備が必要ですが、その事も含めて日本語教師になるべく徹底的に実践的に指導されていきます。

※420時間の修了証は、講座を修了した受講者及び卒業試験の合格者に対して発行されます。

※講座の受講期間は11週間ですが、コースによって途中に1週間の休みが入る場合があります。その場合は、合計の滞在期間は12週間となります。

※この講座の講師は、日本及び英語圏での日本語教師としての指導歴があり、オーストラリアの大学においても指導の経験があります。海外の日本語学校の状況把握にも長けており、実際の就職の際には就職試験対策の指導も対応しています。

※その他詳細は、カウンセラーまでお問い合わせください。

通信コース・世界中どこでも受講可能

費用:AUS\$1,740 (2021年2月現在)

期間: 6ヶ月間~

受講地: 日本・海外どこでも

この通信講座は、前半の日本語教師養成一般講座と後半の日本語教師養成マスター講座の大きく2つに分けることができ、マスター講座を修了時点で420時間の資格が取得できます。

前半部分では、主に外国人から見た日本語文法と英語を媒介語にしたインダイレクト・メソッド(間接法)のエッセンスを学習します。これはダイレクト・メソッド(直接法)と異なり英語話者を対象にした教授法で英語を母国語とする人に最適な教授法です。もちろん直接法)学習しますので前半は両方の教授法を学習することになります。

後半の講座は、オリジナルテキストに沿って学習し、毎回課題のワークシートを提出して頂きます。毎回、養成講座担当講師から添削とコメント・評価を受けます。そして、ほとんどの章の最後には日本語教育能力検定試験の対策問題集を設けています。

※420時間の修了証は、講座を修了した受講者及び卒業試験の合格者に対して発行されます。

※受講スタートは、教材が届き次第いつでもスタートできます。受講期限はお申込み日から始まります。前半の一般講座の有効期限は1年間、後半のマスター講座は2年、計3年間の有効期限内に420時間のコースを終えれば修了証を取得することができます。

※この通信講座の講師は、英語圏での日本語教師指導歴20年以上の講師が中心となり、担当します。個人指導にすぐれており、受講者はきめ細かい添削指導が受けられます。また、課題や文法的なことだけでなく、日本語教授法全般に関するご質問にも丁寧にお答えします。

※その他詳細は、カウンセラーまでお問い合わせください。

オーストラリア日本語教師アシスタント活動について

有給日本語教師インターン参加条件	1日の活動ケジュール(例)
<p>【派遣先】 オーストラリアの民間日本語学校</p> <p>【派遣時期】 毎月月初に派遣開始</p> <p>【応募締切】 ご出発の2ヶ月前程度</p> <p>【応募資格】 年齢…24歳以上(23歳以下の方はご相談下さい) 学歴・職歴…高校卒業以上 英語力…TOEIC400点程度以上(目安)</p> <p>【資格・その他】 日本語教師関連の資格保持…要 日本語教師として教壇に立つ覚悟と意欲を持つ方</p> <p>【ビザタイプ】 ワーキングホリデービザ</p> <p>【待遇】 最初の3ヶ月間は試験期間につき無給、4ヶ月目から有給 ※平均10コマ程度の担当クラスを受け持つことになります。</p>	<p>8:00 起床・朝食 12:30 昼食 14:00～16:00 クラス授業 17:40～20:50 クラス授業 22:00 帰宅 22:30 夕食</p> <p>※専任講師による教案チェックや模擬授業への評価、授業の見学、勉強会等3ヶ月間トレーニングを積んでいただいた後、有給に移行し、担当クラスが与えられます。平均して週10コマ程担当を任せられます。 ※上記のスケジュールはあくまでも一例であり、派遣学校により異なる</p>

その他お役立ち情報

●お給料について

給料は目安時給18ドル前後です。

平均週に10コマ程度のクラスを任されますが、インターン生の能力等により与えられるコマ数は異なります。そのため日本語教師の収入以外に生活費を確保する必要があります。このプログラムは有給ではありますが、稼ぐためのプログラムではなくあくまでも実践経験を積んで頂く場としての活用となります。

●インターン生の年齢層とバックグラウンド

ワーホリビザ取得が必須になりますので、上は31歳までになります。皆さん真剣に日本語教師を目指している方ばかりです。下は大学卒業したばかりの方もいますが、日本語学校の生徒さんはキャリアのある社会人が多いので、きちんと社会人としての振る舞いができることが必須条件になります。この条件を満たしていれば、24歳未満の方でも可能性は十分にあります。

●掛け持ちアルバイト

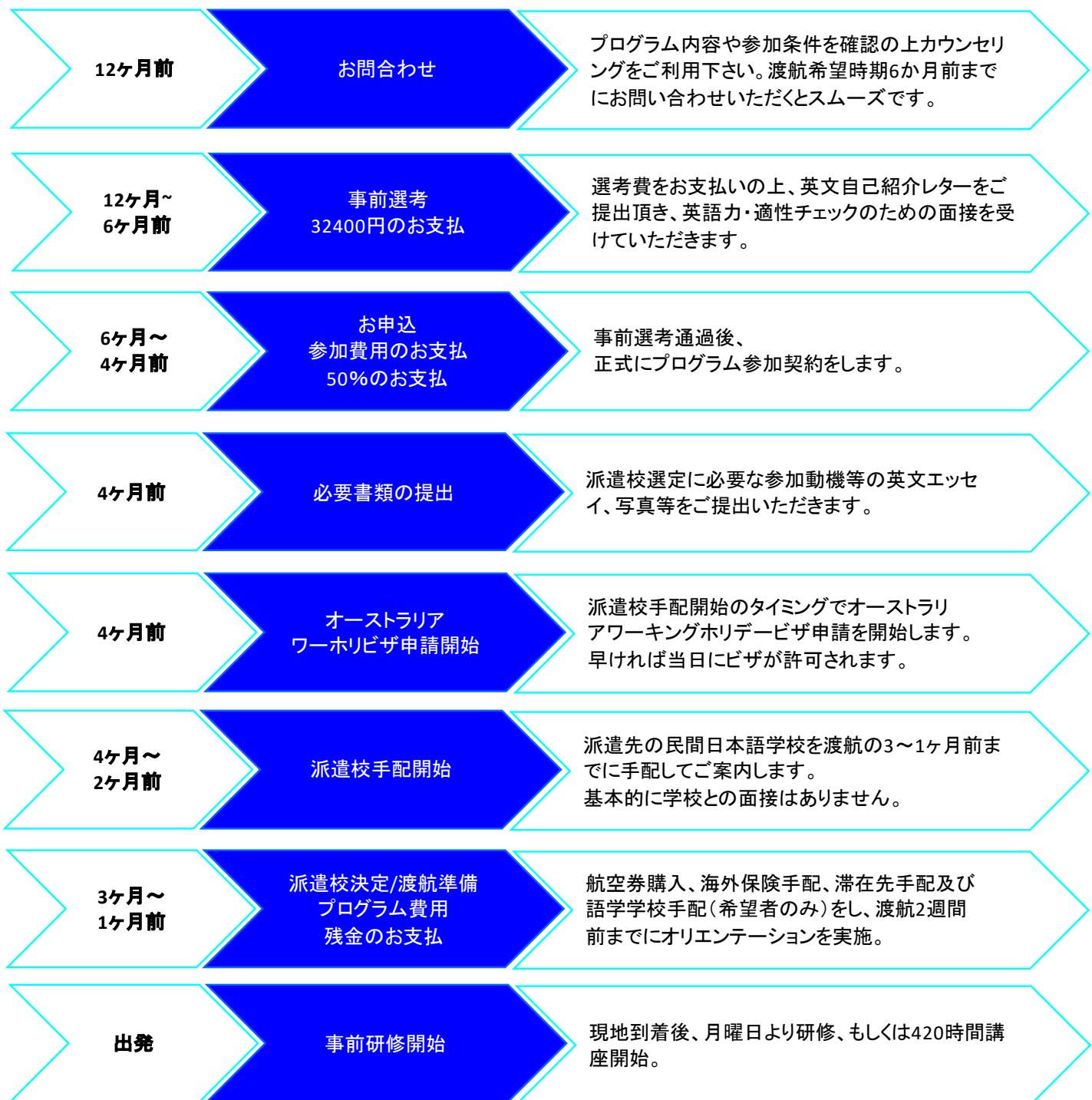
ワーホリビザを保持しているのでアルバイトは可能です。ただ、もちろん研修することがメインになりますので、活動に支障をきたす場合は控えて下さい。特に有休の場合は授業の準備等も含めると活動時間が午後から夜までとなることが多いので休日以外はアルバイト等は現実的に難しいでしょう。

●現地での生活費

滞在先はほとんどの方がシェアアパートに滞在されており、家賃の目安は160～200ドル/週(食事なし、個室)程度で、その他に食費、交通費(約月5～6万)などがかかりますので、月13万前後の生活費となります。

ただ、シティー中心部に住むことで交通費が掛からない場合もありますし、部屋自体をシェアすることで費用を抑えられることもありますので、ご予算に応じて滞在先を探すとよいでしょう。

日本語教師アシスタントプログラム参加の流れ



日本語教師有給インターンシッププログラム料金

料金表	
登録費	33,000円
参加費用	
9ヶ月間	268,000円
1年間	298,000円

【料金に含まれるもの】

プログラム運営費、出発までのサポート、ビザ取得サポート費用、オリジナル教材費、現地サポート費、TOEIC2回受験無料、帰国後の就職サポート

【プログラム料金に含まれないもの】

渡航費(航空券)、シドニーから派遣先までの交通費、滞在費、現地生活費(シドニー滞在分も含む)、海外旅行保険費、ビザ申請費(\$485)

AUS\$=80円

	9ヶ月間	1年間
渡航前にかかる費用		
登録費	¥33,000	¥33,000
プログラム参加費用	¥268,000	¥298,000
滞在先手配費用	¥35,000	¥35,000
ホームステイ費用(4週間) 個室・平日2食週末3食付き	¥110,400	¥110,400
海外送金手数料	¥11,000	¥11,000
海外保険料(目安)	¥108,010	¥223,120
往復航空券(目安)	¥80,000	¥80,000
総計	¥645,410	¥790,520
渡航後にかかる費用		
①現地シェアアパート(目安)	¥504,000 (月63,000円×8か月間)	¥693,000 (月63,000円×11か月間)
②現地生活費・交通費等 (目安)	¥567,000 (月63,000円×8か月間)	¥756,000 (月63,000円×11か月間)
現地収入 (時給18ドル×10コマ)	¥410,400 6ヶ月分の報酬	¥615,600 9ヶ月分の報酬
収入-①&②	マイナス660,600円	マイナス833,400円

- インターン開始前に語学留学を追加することも可能です。学校情報についてはご相談ください。
- 上記海外保険料金は代表的なプランを参考金額として掲載。補償内容・ご契約プランによって保険加入料が異なります。
- 滞在先は、派遣先やエリアによって自己手配になる場合もございますので予めご了承くださいませ。
- プログラム費用は、教育機関等の都合および為替レート変動により予告なく変更されます。最新料金はお問い合わせ下さい。
- プログラム開始3ヶ月前までのお申込みを御願いします。3ヶ月を切るお申し込みの場合、緊急手配料を別途頂戴いたします。